

令和6年度事業

教 育 に 関 す る 事 務 の 管 理 及 び
執 行 状 況 の 点 検 ・ 評 価 報 告 書

令 和 7 年 1 0 月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和6年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和6年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 齋藤 尚文

副委員長 池田 茂良

委員 小川 静香

委員 金田 洋二郎

委員 木村 芳宣

○ 事務評価委員会の開催状況

令和7年 8月 8日

令和7年 8月 19日

令和7年 9月 1日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

令和6年 4月30日 定例会

隠岐の島町スクールトレーナー及び運動器健康指導医の委嘱について

隠岐の島町学校管理規則の一部改正について

隠岐の島町立小中学校規模適正化検討委員会設置要綱の廃止について

隠岐の島町立小中学校のあり方に関する検討委員会設置要綱の制定について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町立隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について
隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
隠岐の島町屋内温水プール温水一次配管更新工事の計画について

令和6年 5月30日 定例会

令和5年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について
令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第10号)に関する意見について
令和6年度教育行政の方針について
令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(第1号)について
隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

令和6年 6月24日 定例会

西郷南中学校大規模改修工事(1期)請負契約の締結に関する意見について
29人乗りスクールバス購入契約の締結に関する意見について
隠岐の島町教育委員会事務評価委員の解嘱について
教育財産[校務用PC]の取得の申出について
隠岐の島町教育委員会事務評価委員の委嘱について

令和6年 7月30日 定例会

隠岐の島町立小中学校のあり方に関する検討委員会設置要綱の一部改正について

令和6年 8月19日 定例会

教育財産[隠岐の島町離島留学学生寮建築工事新規備品]の取得の申出について
工事請負変更契約の締結に関する意見について[都万目の民家保存修理工事]
令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(第4号)について
令和7年度使用教科用図書の採択について

令和6年 9月27日 定例会

隠岐の島町図書館資料宅配サービス実施要綱の制定について

令和6年10月30日 定例会

令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(第6号)に関する意見について
しまね子ども読書フェスティバル in 隠岐の島町開催補助金交付要綱の制定について
令和5年度事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

令和6年11月28日 定例会

西郷小学校特別活動室改修工事請負契約の締結に関する意見について
隠岐の島町公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について
工事請負変更契約の締結に関する意見について〔隠岐の島町離島留学学生寮建設（建築2期）工事〕
工事請負変更契約の締結に関する意見について〔西郷南中学校大規模改修工事（1期）〕
指定管理者の指定について〔隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園〕
令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算（第7号）について

令和6年12月23日 定例会

隠岐の島町修学旅行補助金要綱の一部改正について
隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員の解職について
隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員の委嘱について

令和7年 1月27日 定例会

指定管理者の指定について〔隠岐の島町立布施公民館〕について

令和7年 2月 5日 臨時会

県費負担教職員の人事の内申について

令和7年 2月26日 定例会

隠岐の島町離島留学学生寮設置及び管理条例の制定について
隠岐の島町公民館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町離島留学学生寮設置及び管理条例施行規則の制定について
隠岐の島町公民館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町学校給食費等の管理に関する条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町立中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について
第3次隠岐の島町子ども読書活動推進計画について
令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算（第10号）について
令和7年度隠岐の島町一般会計当初予算について

令和7年 3月26日 定例会

隠岐の島町学校職員の服務規則の一部改正について
教育財産〔スクールバス〕の取得の申出について
西郷南中学校大規模改修工事（2期）の計画について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和 6 年度の開催はありませんでした。

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和6年6月24日

都万目の民家視察研修

都万目の民家保存修理工事現場視察

令和6年度事業 教育委員会の主要な事業の点検・評価

番号	事業名	予算科目	担 当
1	学校図書充実事業	教育指導費	総務学校教育課
2	英語指導事業	教育指導費	総務学校教育課
3	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
4	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
5	魅力ある教育推進事業	教育指導費	総務学校教育課
6	離島留学学生寮整備事業	教育指導費	総務学校教育課
7	小学校体育館無線LAN整備事業	教育指導費	総務学校教育課
8	小学校教材整備等教育振興事業	教育振興費	総務学校教育課
9	小学校施設整備事業	学校施設費	総務学校教育課
10	中学校教材整備等教育振興事業	教育振興費	総務学校教育課
11	西郷南中学校大規模改修事業	学校施設費	総務学校教育課
12	中学校施設整備事業	学校施設費	総務学校教育課
13	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業	社会教育総務費	社会教育課
14	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
15	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
16	保健体育活動補助事業	保健体育総務費	社会教育課
17	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
18	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
19	図書館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
20	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
21	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
22	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
23	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	中央公民館
24	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	布施公民館
25	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	五箇公民館
26	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	都万公民館

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名	学校図書充実事業					総務学校教育課	
予算額	34,279	決算額	33,165	財 源 内 訳			
				特定財源	10,051	一般財源	23,114
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 学校図書館の「読書センター」、「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 学校司書雇用費（11校） 30,600 千円 ● 図書・備品購入費 2,535 千円 ● 活動費 30 千円   (学校図書館風景) (おすすめ図書展示風景)							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 全校への学校司書の配置を継続することで、学校図書館は子どもたちにとって安心できる居場所として、重要な役割を果たしています。学校司書は、選書への助言や、内容の正確性や利用価値が低下した図書の廃棄など、図書館資料の適正な整備にも積極的に取り組んでいます。 また、学校司書の資質向上を図るため、定期的に連絡会を開催し、研修や情報交換を行っています。 (2) 今後の課題 ICTの活用が進展する中で、児童生徒は情報収集の手段としてインターネット検索を利用する機会が増え、学校図書館資料の活用が相対的に減少しています。今後は、授業担当者・司書教諭・学校司書の一層の連携強化を図り、ICTと図書館資料の特性を生かしたバランスの取れた活用を推進していく必要があります。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学校図書充実事業					総務学校教育課

【4. 事務評価委員会の評価 ※】

(1) 評価の概要

○学校図書館が児童生徒にとっての「本との出会いの場」として機能しており、教育的価値が高い。

○ICTとのバランスを取りながら、紙媒体の読書の魅力を維持・強化する取り組みが求められる。

○司書の配置と活動が、児童の心の成長や学びの深化に寄与している点は、事業の大きな評価ポイントである。

【5. 教育委員会の意見 ※】

○学校司書の継続配置により、読書活動の推進や情報活用能力の育成が進み、図書館が子どもたちの安心できる居場所として機能している。

○学校司書の業務が多様化しており、今後の人材確保に向けて待遇改善や研修の充実が求められている。

○ICTの活用が進む中、教員と司書の連携による図書館活用が重要であり、発達段階に応じた情報収集力の育成が期待されている。

○タブレットを入口として読書への関心を高める工夫が求められており、紙媒体とのバランスを取りながら読書の魅力を維持・強化する必要がある。

○図書館が本との出会いの場として重要な役割を果たしており、現在の司書の配置と活動は高く評価できる。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名	英語指導事業					総務学校教育課	
予算額	15,028	決算額	14,832	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	14,832

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 外国語指導助手（ALT）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の外国語教育の充実と国際理解の促進を図っています。
 また、英会話教室の開催や保育所への訪問など、地域における国際交流活動にも協力し、住民の国際理解を深めていきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- ALT雇用費 3名 11,875 千円
- ALT小中学校派遣経費（移動交通費） 2,957 千円




（ALT授業風景）

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

ALTが授業に参加することで、子どもたちは生きた英語に触れ、自然な英会話活動を通じて英語によるコミュニケーション能力の向上が図られました。特に小学校においては、英語免許を持たない教員に対し、ALTが授業を補助することで負担や不安感の軽減につながり、円滑な授業運営が実現しました。

また、夏季休業期間中には、希望のあった保育所を各1回以上訪問し、幼児に英語の歌や遊びを通じた交流活動を行いました。ある保育所では、ALTが教えた英語の歌を発表会で披露するなど、幼児が英語に親しみを持つきっかけとなりました。

（2）今後の課題

ALTがその能力を十分に発揮するためには、授業準備のための時間確保や、教員との円滑なコミュニケーションを支援する体制の整備が必要です。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○ALTによる英語教育は、児童生徒にとって貴重な「生の英語体験」となっており、国際理解や多様な感受性を育む上でも有効である。							
○保育所や特別支援学級への訪問など、教育の裾野を広げる取り組みも評価される。							
○より質の高い授業を実現するためには、ALTと教員の連携強化、授業準備時間の確保、教員研修の充実が今後の重要課題である。							
○長期勤務のALTが地域に根付き、児童との信頼関係を築くことは、教育効果を高める上で非常に意義深い。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○ALTとの触れ合いは幼児期からの国際理解の促進に有意義であり、今後も継続が望まれる。							
○ALTの授業参加により、指導面・心理面での負担軽減が図られ、外国語や文化に直接触れる貴重な機会となっている。							
○少子高齢化に伴う外国人労働者の増加を見据え、子どもたちが幼少期から外国人と接する体験は重要であり、ALTの能力を発揮できる体制整備が求められている。							
○英語指導にとどまらず、多様性や共生社会の実現に向けた教育的役割も果たしており、継続的な支援が必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	28,926	決算額	27,609	財 源 内 訳			
				特定財源	949	一般財源	26,660

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。

また、医療・教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 特別な支援のための支援員配置経費 21,858 千円
支援員配置（10名）
- 特別支援教育コーディネーター配置経費 3,562 千円
- 特別支援教育専門員 1,966 千円
- 事務費 223 千円

隠岐の島町相談支援チーム活動経費（相談件数 94件） 60 千円

隠岐教育支援委員会活動経費（相談件数 30件） 163 千円

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で安心して生活し、学習に取り組む姿勢が見られました。

支援員の配置についての評価を行うことで、当該児童生徒への適切な支援について検討する機会を設けることができました。

相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。

隠岐教育支援委員会の就学相談活動等により、様々な就学についての指導助言を行うことができました。

特別支援教育コーディネーター・特別支援教育専門員の配置により、隠岐養護学校・隠岐教育事務所等と連携しながら保育所・学校訪問等の活動を行うことで、早期の気付き、保護者や保育士・教員への適切な支援や、指導助言を行うことができました。

（2）今後の課題

相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○特別支援教育事業は、児童生徒の学習環境の改善だけでなく、周囲の児童生徒の理解や共生の意識を育む点でも大きな教育的価値がある。 ○支援員の存在が、児童の可能性を引き出し、学級全体の学びの質を高めている。 ○教育委員会による専門人材の配置や支援体制の強化は、地域の特別支援教育の自立と充実に向けた重要な一歩となる。 ○今後は人的資源の確保、支援時間の調整、地域支援機関の整備など、持続可能な体制づくりが求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○相談件数の増加が続いており、相談体制の強化とともに、適切な人材の確保・育成が急務である。 ○支援員の配置は、支援を必要とする児童生徒の力を引き出すだけでなく、周囲の理解促進にも貢献しており、現場のニーズに応じた検証も必要である。 ○教育相談チームが児童・生徒や保護者の悩みに寄り添い、適切な支援につなげている点は高く評価できる。 ○切れ目のない支援を実現するため、関係機関との連携強化が求められている。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	24,313	決算額	21,275	財 源 内 訳			
				特定財源	18,141	一般財源	3,134
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 少子高齢化、人口減少が進む中、町内の県立高校の存続が本町の人口維持に大きな影響を与えるのは言うまでもなく喫緊の課題です。そのために、学校と地域が連携及び協働した高校の魅力化推進を支援するなど、高校の魅力化を高め、県外留学生を含めた生徒確保を推進していきます。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●高校魅力化コーディネーター配置経費 3,018 千円 - コーディネーター 2名 2,818 千円 - 事務費（研修費、消耗品費他） 200 千円 ●多世代対話型交流事業事務局員配置経費 2,866 千円 - 多世代対話型交流事業事務局員 1名 2,866 千円 ●県立高等学校魅力化事業補助金 15,391 千円 - オープンスクール参加宿泊費補助（生徒50名、保護者47名） 952 千円 - 高校寮費等助成（対象者：隠岐高校27名、隠岐水産高校78名） 9,312 千円 - 部活動遠征費補助（2,690円×138名） 371 千円 - 研修旅行助成 3,045 千円 - 高校生の地域留学活動費（地域みらい留学365） 1,491 千円 - 地域みらい留学負担金 220 千円 ◇隠岐高校オープンスクール  ◇隠岐高校関西研修旅行  (万博記念公園) (立命館大学での研究発表) ◇隠岐水産高校オープンスクール  ◇隠岐水産高校研修旅行  (水族館バグダード見学) (明太子製造体験) (大学訪問) 【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 県立学校へコーディネーターを配置することにより、地域との協働及び学校間連携による魅力化を図りました。 また、研修旅行補助事業や部活動遠征補助等により保護者の負担軽減を図り、寮費助成やオープンスクール参加費の補助による町外生徒の確保に努めることで、隠岐高校22名、隠岐水産高校88名の町外生の受け入れに、寄与しています。 (2) 今後の課題 町内からの入学者については、今後、町内における小中学校の児童生徒数は大きな増加が見込めない状況となっており、隠岐高校、隠岐水産高校を身近に感じられるような取組、周知活動を行い、町内での進学の魅力を高める必要があります。町外からの入学者については、コーディネーターをはじめ、各学校の主担当教職員と連携しながら、よりよい周知方法を模索し、生徒確保につながるよう適切な情報発信を行う必要があります。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名		高校魅力化事業					総務学校教育課
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○高校魅力化事業は、教育・地域・人口政策が連動した重要な取り組みであり、県外生徒の受け入れや地域留学制度など、成果が着実に表れている。							
○生徒の目的意識と地域資源の魅力が合致することで、教育効果と地域定着が促進されている。							
○今後は、町内中学生の進学促進、魅力発信の強化、人材の安定確保を通じて、持続可能な魅力化の推進が求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○隠岐水産高校の島外生徒数が着実に増加しており、これまでの取り組みは高く評価できる。今後も魅力発信を強化し、島外生の確保に努めてほしい。							
○県と町が連携して高校教育を支える姿勢は重要であり、補助事業が島外生徒の受け入れに効果を発揮している点は評価できる。							
○島外へのPRだけでなく、島内の小中学生や保護者に対しても、この島で学ぶ魅力を積極的に発信する必要がある。							
○地元住民や保護者に向けた高校の情報発信を強化し、地域全体で高校教育を支える意識の醸成が必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名	魅力ある教育推進事業					総務学校教育部	
予算額	32,057	決算額	30,869	財 源 内 訳			
				特定財源	15,159	一般財源	15,710
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 児童数減少による複式学級の対応として、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。 ふるさと教育・キャリア教育推進のための移動交通費の支援を行います。 中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、児童・生徒の活発な学習活動を支援し保護者の負担軽減を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●複式教育推進事業				7,687 千円			
非常勤講師配置経費（2名）							
●ふるさと・キャリア教育推進に係る移動交通費				1,316 千円			
●中学校各種大会参加費補助				13,456 千円			
●修学旅行費補助				8,410 千円			
小学校	修学旅行費	児童		3,410 千円			
小学校	修学旅行費	引率		242 千円			
中学校	修学旅行費	生徒		4,434 千円			
中学校	修学旅行費	引率		324 千円			

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名		魅力ある教育推進事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○本事業は、教育環境の格差是正と児童生徒の学習機会の確保に大きく貢献している。 ○特に複式学級への対応や修学旅行費の平準化は、地域教育の持続性と公平性を高める重要な施策である。 ○地域移行やクラブ活動への柔軟な対応が進みつつあり、今後さらなる制度整備が期待される。 ○教職員の確保と支援体制の強化を通じて、教育の質を維持・向上させる取り組みの継続が求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○部活動の地域移行やクラブ活動への移行については、隠岐の地理的条件や地域人材を踏まえ、生徒・教職員・保護者の意見を尊重しながら慎重に検討すべきである。 ○複式学級を持つ学校への非常勤講師の配置は、学びの充実と教員の負担軽減の両面で効果があり、継続的な人材確保と配置が求められる。 ○各学校での活動費や修学旅行費の補助など、保護者負担の軽減に向けた取り組みは評価でき、今後も継続してほしい。 ○離島であることが不利にならないよう、修学旅行や大会参加費などの支援を充実させ、教育格差の是正に努める必要がある。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		離島留学学生寮整備事業					
予算額	509,905	決算額	502,116	財 源 内 訳			
				特定財源	498,546	一般財源	3,570
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
町外からの入学希望者が増加傾向の隠岐水産高校について、既存の寄宿舎に加え離島留学学生寮を整備することにより町外からの受入を拡大させ、同高校の存続による「未来の海のスペシャリスト」が育つ魅力ある教育環境づくりを支援するとともに定住人口の確保と関係人口の創出を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●離島留学学生寮整備事業				502,116 千円			
令和4年度より開始した本事業ですが、令和6年度を建設事業最終年度として令和7年4月には、開寮することができました。							
令和5年度からの繰越事業を含め、年度内に全ての事業が完了しました。							
【現年分】							
技術支援業務		5,289 千円					
工事監理業務		4,883 千円					
機械設備工事		72,600 千円					
建築第2期工事		339,688 千円					
備品購入費		9,151 千円					
その他工事		385 千円					
事務費		2,595 千円					
【繰越分】							
技術支援業務		1,116 千円					
工事監理業務		1,069 千円					
電気設備工事		65,340 千円					
【規模・仕様等】							
建 設 地	隠岐水産高校敷地内(テニスコート横)						
構 造	木造瓦葺き2階建て						
床 面 積	(1F)441.02㎡+(2F)289.45㎡=730.47㎡						
間 取	舎室(15)・舎監室・洗面洗濯室・乾燥室 食堂・厨房・浴室・脱衣室・トイレなど						
外 部 仕 上	〔屋根〕瓦 〔外壁〕サイディング・杉板など						
内 部 仕 上	〔床〕フローリング・ビニルシートなど 〔壁〕ビニルクロス・杉板など						
収 容 人 数	30人						
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
令和7年4月の開寮を目指し、工程どおりに工事を進めることができました。電気設備工事につきましては、受電設備の製作に時間を要することから早期に発注し、5・6年度にわたり事業を継続しました。建設事業完了に併せ、計画的に備品を整備し、開寮を迎えることができました。引き続き、県立学校と連携して運営事業を進めていきます。							
(2) 今後の課題							
令和7年度からは離島留学学生寮の運営事業が始まるため、既存の県立学校の寮の運営と同等の生活ができるよう取り組んでいく必要があります。継続して島根県には運営費補助の交付を受けながら財源を確保し、県立学校と連携して運営事業を進めていきます。							



完成した緑水寮外観



1階舎室



食堂



完成した緑水寮外観



1 階舎室



食堂

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		離島留学学生寮整備事業					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○学生寮の整備は、島外生徒の受け入れ促進と地域教育の魅力向上に大きく貢献する事業である。 ○教育環境の整備だけでなく、地域への定着や交流の促進にもつながる可能性がある。 ○今後は、県との連携を強化し、運営体制の安定化と財源確保を図りながら、持続可能な寮運営を目指す必要がある。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○高校魅力化を支援する事業は重要であり、今後も継続的な支援が可能となるよう財源の確保に努める必要がある。 ○緑水寮の整備は島外生徒や保護者から高く評価されており、県と町の連携を強化し、魅力ある教育環境の整備を進めてほしい。 ○安定的な寮運営のためには、今後の人材確保が重要な課題である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名	小学校体育館無線LAN整備事業					総務学校教育課	
予算額	6,097	決算額	6,096	財 源 内 訳			
				特定財源	6,000	一般財源	96
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 小学校体育館に無線LANを整備することにより、ICTを活用した授業や全校集会、発表会等の教育活動の充実を図り、教職員の業務効率化や児童の主体的・対話的な学習環境を整備し、教育の質の向上を目指します。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●小学校体育館無線LAN整備費（7校） 6,096 千円   体育館Wi-Fiアクセスポイント設置							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 小学校体育館に無線LANを整備したことにより、ICTを活用した授業や全校集会などの教育活動がより充実するとともに、災害時にはインターネット接続を通じて情報の収集・発信や行政機関等との連携、被災者の通信手段の確保が可能になり、一時避難所としての機能強化に寄与しました。 (2) 今後の課題 学校のネットワーク環境において、接続不良が発生することがあるため、学校全体のネットワーク環境（体育館のwi-fiアクセスポイントを含めた）アセスメントを実施する必要があります。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		小学校体育館無線LAN整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○本事業は、教育活動のICT化を支える基盤整備として有効であり、児童の学習意欲向上や教職員の業務支援に貢献している。 ○災害時の情報インフラとしても活用可能であり、地域防災の観点からも意義ある整備である。 ○今後は、安定した通信環境の維持と、引き続き、セキュリティを考慮した運用体制の構築が求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○学校のネットワーク整備は、教育の質の向上や地域住民への利便性向上など、多くのメリットがあり意義深い事業である。 ○体育や部活動での映像活用や、災害時の避難所機能の強化など、無線LANの整備は多目的に活用できる。 ○ICTを活用した授業の充実が期待される一方で、安定した通信環境の維持とセキュリティ対策の強化が求められる。 ○災害時にICT設備を使用した後の復旧や再整備について、事前に対応策を検討しておく必要がある。 ○ICTの弊害にも配慮しつつ、教育の基盤整備は継続的に進めていくことが重要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名	小学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	15,577	決算額	13,823	財 源 内 訳			
				特定財源	500	一般財源	13,323

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。

校務用パソコンは、経年劣化等による動作不良が発生し、校務に支障をきたしているため、計画的に更新することで、教職員の業務の効率化を図ります。

いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。

経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

入学準備品を支給し、保護者負担の軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 2,714 千円
 - 教育用教材 2,644 千円
 - その他備品等 70 千円
- 校務用パソコン更新 3,812 千円
- いじめ対応支援事業 305 千円
 - アンケート検査用紙の購入
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 5,290 千円
 - 就学援助費 5,207 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 83 千円
- 入学準備支援事業 1,702 千円



標準教材（ミシン）



理科教材（解剖顕微鏡）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

小学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学方向上に資することができました。

校務用パソコンの更新により、教職員の業務の効率化が図られました。

児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。

経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。

入学準備品（体操服）の支給により保護者の負担軽減が図られました。

(2) 今後の課題

今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名		小学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○本事業は、教育環境の整備と教職員支援、児童の学習機会の保障に広く貢献している。 ○教材・ICT・経済支援の三位一体の取り組みにより、教育の質と公平性が向上している。 ○今後は、デジタル教材の活用促進と教職員のスキル向上、ICT機器の安定運用が課題となる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○就学援助費や特別支援教育就学奨励費は、すべての子どもに平等な教育環境を提供するために重要であり、継続と充実が望まれる。 ○入学準備品の支給は、物価高騰の中で保護者の経済的負担を軽減しており、特に体操服の支給は効果的で今後も継続的に実施されることが期待される。 ○教職員の業務効率化のため、パソコンの継続的な更新が求められる。 ○いじめ対策には早期発見・対応が不可欠であり、同時に人権意識や多様性への理解を深める教育の推進が必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 9
事業名	小学校施設整備事業						
予算額	20,297	決算額	19,415	財 源 内 訳			
				特定財源	19,286	一般財源	129
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 計画的に実施している校舎・体育館のLED化により、必要な教育環境の整備を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 小学校施設整備費 19,415千円 小学校施設のLED化が主な内容です。 ・ 五箇小学校校舎LED化工事設計業務 495千円 ・ 五箇小学校校舎LED化工事 18,920千円 ◇五箇小学校校舎LED化工事  							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 照明設備について、学校施設既存照明の蛍光灯・水銀灯の生産中止となっているものもあるため取替・更新が不可能な状況となっていました。LEDに改修することで児童に必要な学習環境の改善を図ることができました。 (2) 今後の課題 小学校施設のLED化については、令和5年度に体育館は全て完了しました。校舎のLED化を今後も計画的に進めていく必要があります。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 9
事業名		小学校施設整備事業					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○LED化による照明改修は、旧型照明の更新困難な状況を改善し、児童にとって安全・快適な学習環境の整備に貢献した。特に体育館では、熱や点灯遅延の問題が解消され、安心して活動できる環境が実現された。 ○高額な設計・工事費や資材高騰の影響を踏まえ、リース方式など柔軟な導入手法の検討が必要である。 ○少子化や、これから策定される教育環境基本計画等も踏まえつつ、学校間の教育格差が生じないよう、年次的かつ計画的な整備が必要である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○LED化は学習環境の整備や電気代の節減につながるため、体育館や校舎など計画的な整備が求められる。 ○授業だけでなく災害時にも活用される可能性があるため、学校の将来像を見据えた上での整備が重要である。 ○学校間で格差が生じないよう、公平性を保った整備の進行が望まれる。 ○校舎内の工事は授業や学校運営に支障が出ないよう、引き続き、配慮しながら進める必要がある。 ○LED化のメリットを広く周知することで、町としての環境教育の推進や町民の理解促進につながる可能性がある。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 10
事業名	中学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	12,327	決算額	11,866	財 源 内 訳			
				特定財源	201	一般財源	11,665

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立中学校4校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。

校務用パソコンは、経年劣化等による動作不良が発生し、校務に支障をきたしているため、計画的に更新することで、教職員の業務の効率化を図ります。

いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。

経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

入学準備品を支給し、保護者負担の軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 1,477 千円
 - 教育用教材 1,446 千円
 - その他備品等 31 千円
- 校務用パソコン更新 2,024 千円
- いじめ対応支援事業 211 千円
 - アンケート検査用紙の購入
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 4,823 千円
 - 就学援助費 4,751 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 72 千円
- 入学準備支援事業 3,331 千円



理科教材（ボルタ・ダニエル電池実験器）



音楽教材（トランペット）

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

中学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。

校務用パソコンの更新により、教職員の業務の効率化が図られました。

生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。

経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。

入学準備品（体操服・上靴）の支給により保護者の負担軽減が図られました。

（2）今後の課題

今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 10
事業名		中学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○中学校教育の専門性に対応した教材整備は、学力向上と教育の質の向上に貢献している。 ○経済的支援の拡充やICT環境の整備は、教育の公平性と効率性を高める重要な施策である。 ○今後は、学校現場の声を反映した柔軟な予算運用と、教職員の指導力向上を支える研修体制の強化が求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○いじめ対策には、教員との日常的な関わりだけでなく、アンケートなどを通じた情報収集も有効であり、継続的な取り組みが必要である。 ○いじめの早期発見・早期対応に加え、人権意識や多様性への理解を深める教育の推進が求められる。 ○物価高騰の中での入学準備品の支給は、保護者の経済的負担を軽減しており、高く評価できる。 ○中学校教育の専門性を踏まえ、学校間で格差が生じないように、計画的な整備が望まれる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 11
事業名	西郷南中学校大規模改修事業						
予算額	100,843	決算額	100,292	財 源 内 訳			
				特定財源	90,870	一般財源	9,422

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 学校施設個別施設計画（長寿命化計画）に基づき大規模改修を実施することで、生徒の安心安全で快適な教育環境を確保します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 西郷南中学校大規模改修 100,292千円
 令和5年度で設計、令和6・7年度で工事を実施します。
 - ・ 西郷南中学校グラウンド整備測量設計業務 2,222千円
 - ・ 西郷南中学校大規模改修工事監理業務 1,727千円
 - ・ 西郷南中学校大規模改修工事（1期） 95,783千円
 - ・ 事務費（消耗品、印刷製本） 560千円
- ◇ 西郷南中学校大規模改修事業
 校舎全体の屋根・外壁改修



校舎2階床面改修





美術室ステンドグラス改修

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 令和6年度は主に校舎の大規模改修を行なうことにより、安心安全な施設とすることができました。

(2) 今後の課題
 物価高騰により、令和6年度実施予定事業の一部を令和7年度に実施するよう計画変更し実施しました。今後も物価高騰が続いているため、予算を確認しながら慎重に進めていく必要があります。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 11
事業名		西郷南中学校大規模改修事業					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○屋根・外壁の改修により、雨漏りや老朽化の懸念が解消され、生徒が安心して学習できる環境が整備された点は評価できる。 ○築40年近くの施設に対し、個別施設計画に基づく段階的な改修が進められており、今後も長期的な視点での整備が求められる。 ○物価高騰による工事費の増加が見込まれる中、財政的な負担を抑えつつ、必要な改修を着実に進めるための予算管理と財源確保が課題となる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○小中学校11校の整備を計画的に進めている点は評価されており、今後も継続的な対応が望まれる。 ○猛暑への対策として、体育館への空調設備の整備をする検討が必要であり、国や学校現場との協議を通じた計画の策定が求められる。 ○老朽化した校舎の大規模改修により、安全で快適な学習環境が整備されていることは高く評価できる。 ○生徒が安心して学べる環境づくりのため、修繕は重要であり、学校の適正化など将来を見据えた整備が必要である。 ○理想的な教育の実現には施設の改修が不可欠であり、引き続き計画的な事業の実施が求められる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名		中学校施設整備事業					
予算額	51,393	決算額	50,710	財 源 内 訳			
				特定財源	50,617	一般財源	93
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 町内中学校（4校）の普通教室のすべてで空調整備はされているが、未実施となっている特別教室の整備を行います。また、計画的に実施している校舎・体育館のLED化により、必要な教育環境の整備を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 中学校施設整備費 50,710千円 小学校施設のLED化と空調整備が主な内容です。 ・ 五箇中学校校舎LED化工事設計業務 495千円 ・ 都万中学校体育館LED化工事設計業務 495千円 ・ 五箇中学校校舎LED化工事 25,300千円 ・ 都万中学校体育館LED化工事 24,420千円 ◇ 五箇中学校校舎LED化工事   ◇ 都万中学校体育館LED化工事   【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 照明設備について、学校施設既存照明の蛍光灯・水銀灯の生産中止となっているものもあるため取替・更新が不可能な状況となっていました。LEDに改修することで児童に必要な学習環境の改善を図ることができました。 (2) 今後の課題 中学校施設のLED化については、体育館は全て完了しました。校舎のLED化を今後も計画的に進めていく必要があります。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名		中学校施設整備事業					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○体育館のLED化が全中学校で完了し、照明の質向上によって生徒が安心して活動できる環境が整備された点は評価できる。 ○校舎のLED化は未完了であり、今後も年次的・計画的に進めることで、教育環境の均質化を図る必要がある。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○体育館・校舎のLED化は学習環境の向上や電気代の節減につながるため、授業や学校運営に支障がないよう配慮しながら進める必要がある。 ○学校間で格差が生じないように、公平性を保った継続的かつ計画的な整備の実施が望まれる。 ○今後の学校の適正化など将来を見据えた上で、LED化を含む施設整備を進めることが重要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業					社会教育課	
予算額	7,599	決算額	7,599	財 源 内 訳			
				特定財源	7,599	一般財源	0

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、島外遠征に係る渡航費用を助成します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業

・交付決定者数（延べ人数）：2,896人

	R4	R5	R6
小学生	1,056	1,364	1,461
中学生	490	748	974
指導者	241	365	461
合 計	1,787	2,477	2,896

	R4	R5	R6
合 計	4,939,190	6,322,040	7,598,870

・補助対象
島外で開催される大会（全国規模の大会を除く。）、交流・練習試合等の島外遠征に係る渡航費

・補助金額
航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成

区間	小学生	中学生・指導者等
西郷～本土間	3,020円以内	6,040円以内
西郷～島前間	1,980円以内	3,940円以内



サッカーチームの活動



野球チームの活動

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
島内では経験できないレベルの高い相手との合同練習・試合をすることで、自己の成長に繋がったと考えられます。また、利用人数や補助交付額は年々、増加傾向にあります。大会だけでなく、本土での活動の幅が広がっており、町内の小・中学生のより活発な体育活動や文化活動を促進することができました。

（2）今後の課題
年々、各団体の補助申請額は増加しています。遠征回数等に違いがあるため、不公平感が無いよう、事業の実施状況を確認し、状況に応じて制度の見直しを検討することが必要となっています。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名		がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○この事業は、離島地域の子どもたちにとって貴重なスポーツ・文化的体験の機会を提供するものである。今後も子どもたちの健全な成長を支える重要な事業として、引き続き丁寧な運用と改善が期待される。 ○今後は、制度の公平性と持続可能性を両立させるため、実態に即した柔軟な制度設計と、教育現場との連携強化が求められる。利用者数の増加や指導者への補助拡充など、前向きな成果が見られる一方で、団体間の利用格差や教育現場との調整などの課題も顕在化している。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○島外との交流は子どもたちの自己啓発や競技力向上に効果があり、一般財源を使わずに実施できている点は評価できるが、公平性や学校活動への配慮など運用面の改善が求められる。 ○離島のハンデを補い、子どもたちの意欲を支え、保護者の負担軽減にもつながっており、継続的な支援が望まれる。 ○島外との試合経験の差が大きく、交流の機会が教育格差の是正に寄与しているため、今後も積極的な支援が必要である。 ○来島する団体への助成も検討すべきであり、交流の双方向性を高める工夫が求められる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	4,101	決算額	4,099	財 源 内 訳			
				特定財源	2,550	一般財源	1,549

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業

運営委員会（委員報償費・費用弁償等）	10 千円
放課後子ども教室	2,717 千円
放課後サポーターを配置し放課後の子どもの居場所の確保	
学校支援事業	1,206 千円
地域人材活用による学校支援	
家庭教育支援事業	45 千円
小中学校人学前に「親学プログラム」を実施	
事務費（学校運営協議会視察：鳥取県南部門）	121 千円

令和6年度 放課後子ども教室実施状況

地 区	教 室 名	開催日	開 催 場 所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (登録人数)	登録 児童数
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	26	264	145	43
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	30	1,073	113	60
有木	まにの広場	月・金	有木小学校	60	827	168	26
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	34	437	121	20
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	28	249	102	12
五箇	学センわくわく広場	月・水	五箇生涯学習センター	55	1,079	201	55
都万	遊びと学びの広場	月・木	都万小学校・都万公民館	31	879	55	48
合 計				264	4,808	905	264

【活動写真】



磯小放課後子ども教室（サツマイモ掘り）



有木小親学プログラム

※登録人数は、令和6年度最終日時点のもの

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

地域・学校・家庭の連携協働を図り、地域総がかりで子ども達を育成する教育環境の構築を図っています。放課後子ども教室では、地域のサポーターを活用し、子どもたちが放課後に学習や体験活動を行うなど安心・安全に過ごせる居場所づくりとして成果をあげています。また、学校支援事業では、地域コーディネーター、学校サポーターによる学校支援により教育活動の推進が図られました。

（2）今後の課題

地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む事業を推進するため、子どもの体験活動における指導者や放課後サポーター等地域人材の確保と育成を行うなど推進体制の充実が必要となっています。また、令和7年度より一部学校において、学校運営協議会の設置を予定しているため、学校・地域連携強化に努めていく必要があります。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名		結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○この事業は、地域資源を活用しながら子どもたちの学びと育ちの支える重要な取組であり、地域・学校・家庭の協同による教育環境の向上に寄与している。特に放課後子ども教室の活発な運営や、親学プログラムによる家庭支援は高く評価させる。 ○一方で、地域間の実施格差や人材不足、交通アクセスの課題など、参加機会の公平性を確保するための改善が求められる。今後は地域の実情に応じた柔軟な制度設計と、持続可能な人材育成の仕組みづくりが鍵となる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○放課後子ども教室は子どもたちの居場所づくりに貢献しており、地域の人材を巻き込んだ継続的な支援が求められる。 ○登録児童数と参加人数にばらつきがあるため、実態の把握と運営方法の見直しが必要である。 ○サポーターの確保が急務であり、中高生や保護者との連携も含めた人材確保の工夫が求められる。 ○開催日数の増加や障がいのある子どもへの配慮など、誰もが安心して参加できる環境づくりが必要である。 ○地域の方から学ぶ機会は子どもたちの育成に重要であり、学校教育とは異なる価値を持つ活動として継続が望まれる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 15
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
予算額	25,543	決算額	25,541	財 源 内 訳			
				特定財源	10	一般財源	25,531

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 隠岐島文化会館を適正に管理運営し、多様で質の高い町民の芸術文化活動の環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 20,963千円
 隠岐島文化会館の管理運営を指定管理者である（公財）隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》 [単位：人]

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延べ人数	30,479	19,769	18,537	23,644	27,614	23,687

指定管理者による主な実施事業 （隠岐の島町教育文化振興財団）

○鑑賞事業
 ・映画上映（2作品 延べ8回） 入場者数：延べ583人
 ・ヴァイオリンコンサート 入場者数：226人
 （隠岐島文化会館開館40周年記念事業）

○育成事業
 ・青少年人材育成事業
 大ホール事業に対するボランティアスタッフの育成

○芸術文化支援事業
 ・芸術文化支援事業
 大ホールを利用した事業の支援（12回）

○地域活性化事業
 ・隠岐乃国伝統芸能祭（島根各地の神楽の共演）
 ・おきゼミ（講演会2回）
 ・文芸隠岐発刊事業
 ・文化祭/文化グループ発表会
 ・町民なんでも発表会
 ・夏、冬休み体験事業
 ・島根県公立文化施設協力事業（1回）
 ・定期利用活性化事業

○展示・文化情報提供事業

●吸水式冷温水機化学薬品洗浄工事（他3件） 4,430千円
 ●その他事務経費等 148千円

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
 隠岐島文化会館開館40周年記念事業、町政20周年記念事業として開催したヴァイオリンコンサート等では、海外でも活躍しているプロの演奏に来場者の方々も大変喜んで頂きました。また、隠岐乃国伝統芸能祭では、女性の舞を中心に島根の神楽を一同に集め、普段見ることのできない神楽を町民の方に楽しんで頂きました。

（2）今後の課題
 更なる文化芸術活動の推進に向け、指定管理者との連携強化を図る必要があります。また、築約40年を迎える施設であるため経年劣化及び機材の更新等の課題が出てきます。長寿命化計画に基づき、計画的な対応が必要となっています。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 15
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○隠岐島文化会館は、町民の文化活動の拠点として一定の役割を果たしているが、施設の利用状況や活動団体の高齢化など、運営面での課題が顕在化している。イベント開催時には一定の集客が見られるものの、日常的な利用促進にはさらなる工夫が必要である。 ○今後は、定期的なサークル活動の活性化、若年層の参加促進、民間との連携による企画力の強化などを通じて、施設の魅力を再構築することが求められる。また、築年数に応じた計画的な修繕を進め、安心して利用できる環境整備が急務である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○島では触れる機会の少ない音楽や芸能などのイベントが企画され、地域の文化活動の拠点として高く評価できる。 ○芸術文化活動の充実に、指定管理者だけでなく、公民館・教育委員会・民間との連携強化が必要である。 ○隠岐の芸能文化活動は高齢化や人材不足が課題であり、若い世代へのアピールの場としての活用が期待される。 ○多くの町民が利用する施設であるため、利用者の声を反映した計画的な修繕・整備が求められる。 ○建造物としても魅力ある施設であり、老朽化への対応として、継続的な管理と修繕が望まれる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 16
事業名	保健体育活動推進事業					社会教育課	
予算額	6,483	決算額	6,021	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	6,021
【1. 事業の目的】							(単位：千円)
社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●隠岐の島町体育協会補助金				4,555 千円			
13競技、4地区体協へ補助金交付							
●つなG0隠岐の島実行委員会委託料				800 千円			
●隠岐郡陸上競技協会法令外負担金				348 千円			
●スポーツ推進委員活動費				222 千円			
●隠岐の島町スポーツ少年団活動費補助金				90 千円			
●その他事務経費等				6 千円			
[隠岐の島町体育協会活動写真]							
							
全隠岐柔道選手権大会				全隠岐相撲選手権大会			
							
室内グラウンドゴルフ大会				つなG0隠岐の島			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
隠岐の島町体育協会補助金交付により、町内スポーツ競技団体による大会の他、各地区体協の活動が実施されました。一部、中止となった大会もありましたが、町民のスポーツ活動の推進が図られました。							
(2) 今後の課題							
隠岐の島町生涯スポーツ推進計画の基本目標の「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しめる健康的な日常をつくろう」をめざし、各競技団体と連携して参加競技者の増加に向けた取り組みが必要です。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 16
事業名		保健体育活動推進事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○保健体育活動推進事業は、地域のスポーツ活動を支える重要な財政的基盤として機能しており、体育協会を中心とした大会開催など、一定の成果が見られる。一方で、補助金支給にとどまる支援の枠組みでは、競技人口の減少や指導者不足といった構造的課題に十分対応できていない。 ○今後は、競技団体との連携を深め、指導者育成や競技者拡大に向けた施策を教育委員会として積極的に検討・支援することが求められる。地域のスポーツ文化を守り育てるための、より実効性ある支援体制の構築が期待される。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○隠岐の島町文化振興財団による体育協会の円滑な運営支援は評価されており、競技団体への適切な助言と補助金の運用支援が今後も求められる。 ○「つなGO隠岐の島」など、トップアスリートとふれあう機会は子どもたちに良い刺激となり、隠岐の競技を中心に継続が期待される。 ○各種全隠岐大会や生涯スポーツの大会開催・助成は、町民のスポーツ参加の促進につながっており、継続的な支援が望まれる。 ○地域のスポーツ文化を守るため、指導者の育成や環境整備を含む実効性ある支援体制の構築が必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 17
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	25,015	決算額	24,953	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	24,953

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化を図るための環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 24,529 千円
総合運動公園及び総合体育館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》

隠岐の島町総合運動公園 [単位：人]

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延べ人数	3,890	4,301	4,616	5,682	8,303	6,943

隠岐の島町総合体育館 [単位：人]

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延べ人数	30,569	24,850	29,858	19,446	30,406	30,028

指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)

○スポーツ・体育活動支援事業
・レインボーアリーナ杯（スポンジテニス・ソフトバレーボール大会開催）

○地域活性化事業
・スポーツ教室（8種目11教室） 参加者数：延べ4,196人
・夏・冬休み複合型子ども教室 参加者数：66人
・開放事業レインボーアリーナの日 参加者数：120人
・（新）冬期生涯スポーツ教室 参加者数：72人
（室内グラウンドゴルフ）

開放事業レインボーアリーナの日

●備品購入費 (体育館消火器(26本)) 400 千円

●管理運営委員会開催費 24 千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
本町の社会体育、生涯スポーツの拠点施設として様々な団体に活用されています。さらに、指定管理者による様々な体験教室、スポーツ大会なども実施されており、町民の生涯スポーツの推進に寄与しています。

(2) 今後の課題
築20年の施設であり、館内設備機器は耐用年数を10年以上経過しているものも多いため、計画的な修繕及び改修が必要です。また、指定管理者等とより一層連携を密にし、様々な世代におけるスポーツ人口の拡大に取り組んでいくことが必要となっています。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 17
事業名		総合運動公園管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○総合運動公園は、町民の健康とスポーツ振興を支える重要な基盤として機能しており、年間3万人以上の利用実績を持つ拠点施設である。指定管理者による多様な教室やイベントの開催により、地域住民の交流と活動機会が提供されている点は高く評価される。 ○一方で、設備の老朽化や利用環境の改善、利用者層の偏りなど、継続的な課題も存在する。特に2030年の国民スポーツ大会に向けた施設整備は喫緊の課題であり、計画的な改修と運営体制の強化が求められる。引き続き、誰もが快適に利用できる環境づくりと、幅広い世代への参加促進を期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○町民のスポーツ活動の充実には、体協だけでなく、公民館・教育委員会・民間との連携強化が必要である。 ○スポーツ活動の地域の拠点として多くの団体・個人に利用されており、町民の健康づくりや交流の場として活用され、高く評価できる。 ○運動公園や体育館の利用に関しては、空き状況や公平性の課題があり、抽選制度などの導入を含めた利用方法の見直しが求められる。 ○施設の修繕は計画的に進める必要があり、快適で安全な環境の維持が重要である。 ○地域の方々がスポーツを通じて交流する場としての役割が定着しており、今後もその価値を高める取り組みが期待される。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	40,273	決算額	40,230	財 源 内 訳			
				特定財源	24,024	一般財源	16,206

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 屋内温水プールを適正に管理運営し、体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図り、町民の健康増進を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 14,037 千円

隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を指定管理者である(株)MIしまねが行いました。

《施設の利用状況》 [単位：人]

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ビジター利用	4,570	2,672	3,181	3,361	4,623	5,118
会員利用	35,821	29,979	33,939	32,407	36,423	36,862
教育機関利用	1,455	1,170	962	1,680	1,882	2,510
その他利用	1,152	457	576	483	396	786
合計	42,998	34,278	38,658	37,931	43,324	45,276

指定管理者による主な実施事業 (MIしまね)

○利用者拡大事業

- ・スポーツクラブレッスン
 ごきげん全身体操、おまかせ水中運動、全身ストレッチ、やさしい水泳教室等、寝たまま簡単ゆらぎ体操、筋トレ教室、リラックスヨガ
- ・ジュニアレッスン
 幼児期からの水泳教室
- ・水泳競技大会参加
 水泳競技の全国大会や島根県大会に向けた競技力向上指導及び大会への参加支援



水中教室

●工事費

- ・温水一次配管更新工事 21,450 千円
- ・2階LED照明化工事 2,640 千円
- ・デジタル指示調節計取替工事 770 千円
- ・サウナ室修繕工事 495 千円

●備品購入費

- ・マッフルシート (8枚) 563 千円
- ・スポーツタイマー (1台) 221 千円

●管理運営委員会開催費 (2回) 54 千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 本町の健康増進の中核施設のひとつとして幅広い年齢層に活用されています。利用者は、年々増加しており、プールだけでなく、スタジオを活用した健康増進プログラムを指定管理者が独自事業として行うことで、利用者にとって必要不可欠な施設となっています。また、設備改修を行うことにより、より安全で快適な環境を利用者に提供することができました。

(2) 今後の課題
 大規模な修繕については概ね目処がたちましたが、小規模修繕の必要がある箇所が多くなっています。また、指定管理者等とより一層連携を密にし、様々な世代における利用者の拡大に取り組んでいくことが必要となっています。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○温水プール管理運営事業は、町民の健康とスポーツ振興に大きく貢献しており、年間4万5千人超の利用実績は高く評価される。指定管理者による創意工夫と指導力により、地域の子どもたちの競技力向上にも寄与している。 ○一方で、指定管理者の撤退に伴う運営体制の再構築や、職員不足による受け入れ制限など、課題も顕在化している。今後は、安定した管理体制の確保と、利用者層のさらなる拡大に向けた取り組みが求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○学校教育での利用も含め、行政による管理運営支援が必要であり、安定した体制の構築が望まれる。 ○ジムやプールは町民の健康増進や余暇の充実に貢献しており、創意工夫された企画とともに、幅広い年齢層に利用されている施設であるため、人材確保と設備改修を通じて、安全で快適な環境の提供が求められる。 ○利用者の増加は評価でき、継続的かつ安定的な運営体制への支援が必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 19
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	40,458	決算額	38,967	財 源 内 訳			
				特定財源	2,059	一般財源	36,908
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、資料の充実に努めるとともに、学校や公民館など関係機関と連携を図り、住民の読書環境の整備を進めていきます。隠岐の島町図書館振興計画の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めます。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●図書館管理運営費				31,931千円			
会計年度任用職員人件費(4名分)					18,208千円		
光熱水費、燃料費(電気、水道、ガス、ペレット等)					4,261千円		
図書システム関連経費(リース、保守点検、システム使用)					3,752千円		
施設維持管理各種業務委託費(空調、電気、消防、警備、清掃)					2,870千円		
工事請負費(吸収冷温水機1号機基板交換、消防設備修繕)					701千円		
消耗品費(図書館資料用、事務用、衛生用)					641千円		
図書データ抽出手数料等					475千円		
粉末消火器他備品更新費					340千円		
しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町実行委員会補助金					200千円		
その他事務経費等					483千円		
●図書館資料費				6,969千円			
書籍、雑誌、新聞					5,769千円		
視聴覚資料(CD、DVD)					1,200千円		
●図書館運営委員会開催費				67千円			
運営委員会の開催(6/20, 11/14) 委員10名							
・年間入館者数				47,823人(前年比+4,995人)			
・年間貸出冊数				57,469点(前年比+388点)			
							
絵本作家 岡田よしとかさんのお話し会				よるとしよ(コンサート、カフェ等)			
							
				図書館宅配サービスの開始			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
「しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町」をはじめとした親子読書啓発活動を実施したことなどにより、児童図書の貸出が13%増加し、定例おはなし会への参加人数も倍増しました。							
また、課題であった来館困難な方へのサービスとして、令和6年度に「図書宅配サービス」を開始し、高齢者や障がい者、遠隔地の方などの読書環境の充実を図りました。							
(2) 今後の課題							
令和6年度の入館者数は、大規模な写真展を実施した令和5年度に比較すると減少し、貸出冊数は微減となりました。児童図書の貸出が増加しているのに対し、一般図書の貸出が8%減少しています。一般の方の利用を増加させる更なる取り組みが必要です。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 19
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○この事業は、町民の学びと文化活動を支える基盤として、安定した運営と積極的な取り組みが評価される。宅配サービスの開始や児童向けイベントの充実、学校・保育所との連携など、地域に根ざしたサービス展開が進められている。 ○一方で、一般図書の貸出減少への対応など、利用者の拡大に向けた課題も存在する。今後も、多様なアプローチによる利用促進が期待される。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○図書館は町民の知る権利と学びの場として機能しており、図書宅配サービスなど住民ニーズに応える取り組みが高く評価できる。 ○来館者数や児童図書の貸し出し増加につながる工夫がなされており、イベントや展示会による来館促進も時代に合った取り組みとして評価できる。 ○自動貸し出し機の導入など、課題解決に向けた取り組みが進められており、今後も利用者の利便性向上が期待される。 ○一般図書の貸し出し減少については、原因の分析と対策を講じ、今後の運営に活かす必要がある。 ○紙媒体の読書機会が減少する中で、タブレットやネット利用とのバランスを取りながら、読書への関心を高める工夫が求められる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No.	20
事業名		文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	48,838	決算額	47,671	財源内訳				
				特定財源	37,824	一般財源	9,847	

【1. 事業の目的】
文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とします。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 都万日の民家保存修理工事（R5繰越事業） 32,208千円（総事業費53,680千円）
島根県指定有形民俗文化財である都万日の民家の保存修理を行いました。
- 町内遺跡発掘調査事業 5,107千円
開発事業等に伴い、事前の埋蔵文化財試掘調査を行いました。
 - ・発掘調査補助員人件費 4,089千円
 - ・重機等借上料 763千円
 - ・調査作業員賃金 他 255千円
- 牛突き習俗保存対策事業 4,929千円
 - ・突き牛導入費補助金（11件） 3,349千円（導入費の2/3、上限なし）
 - ・突き牛処分費補助金（14件） 980千円（処分1頭につき、7万円）
 - ・大会出場費補助金（60件） 600千円（出場牛1頭につき、1万円）
- 無形民俗文化財補助金交付事業 3,252千円
町内の指定無形民俗文化財保持団体に年間活動費のうち対象経費の1/2を補助しました。
（交付実績：18団体中14団体）
- 「隠岐の文化財」発刊事業 748千円
隠岐4町村の教育委員会合同で「隠岐の文化財」第42号を発刊しました。
- 神馬導入促進事業 732千円
文化財の公開に使用される馬の導入費を補助しました（2件）。
- 古典相撲大巾調査報告書刊行事業 695千円
古典相撲で使用される化粧まわし（大巾）の調査報告書を刊行しました。




埋蔵文化財試掘調査の様子 古典相撲大巾調査報告書

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
各種補助金を交付することにより、指定文化財の保存・継承に繋がっています。民間団体が主催する文化財活用事業が毎年一定数開催されているのは良い傾向です。また、町内の木像調査が完了し、今後の指定に向けての基礎情報を得ることができました。埋蔵文化財試掘調査においては、開発予定地域の埋蔵文化財の有無を確認し、未確認の文化財の喪失を未然に防ぐことができました。

（2）今後の課題
補助金の申請内容が多様化し、また物価高騰もあいまって全体的に補助額があがっています。多様化する申請に対し、きめ細かな補助を行っていく必要があります。
町内にはまだ知られていない、調査を必要とする文化財が数多くあります。これらの文化財の調査を計画的に行っていき、保護活用していく必要があります。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 20
事業名		文化財保存継承事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○文化財保存継承事業は、地域の歴史・伝統を守り、次世代へ継承するための重要な取り組みとして高く評価される。 ○都万日の民家の修理や牛突き習俗の支援など、地域文化の維持に成果が見られる。 ○地域住民の参加と補助制度の活用により、文化財が「生きた資産」として機能している点は特筆すべきであり、今後も継続的な支援と計画的な保存活動が求められる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○隠岐に残すべき文化財を守るため、町民の声に耳を傾けながら優先事項を見極め、事業に取り組んでいる姿勢は評価できる。 ○貴重な文化財の保存・継承には、人材や予算の確保を含めた継続的な支援と見直しが必要である。 ○次世代の担い手を育てるため、子どもたちが文化財に興味を持てるような教育の充実が求められる。 ○これまでの発掘調査の成果を整理し、計画的に活用していくことが重要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	3,583	決算額	3,472	財 源 内 訳			
				特定財源	460	一般財源	3,012

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
国指定重要文化財建造物佐々木家住宅を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とします。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●管理運営事業 2,510千円
年間を通して公開(12～3月は休館)しました。
・管理清掃費(275日)受託者：3名 2,047千円
・光熱水費・設備維持費 他 463千円
年間入館者数：1,534人(前年比+52人)
年間入館料：460千円(前年比+16千円)

●外構整備工事 902千円
施設周辺の外構整備工事を行い、駐車場の整備や通路にスロープをつけるなど施設のバリアフリー化を図り、周辺環境の改善を行いました。



駐車場



スロープ

●活用事業 60千円
佐々木家住宅について周知を行うため2日間にわたりイベントを開催しました。屋台出店や参加型のイベントなど2日間合わせて約140名が来場しました。



佐々木家住宅の説明



とんとん相撲大会



和菓子作り体験

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
佐々木家住宅を開館し来館者を受け入れることで本町の昔の生活様式を知ってもらうことが出来ました。また、イベントを開催し町民の皆さんに佐々木家住宅を身近に感じてもらい、本町の歴史文化について理解を深めてもらうことができました。

(2) 今後の課題
保存修理事業には多額の経費が必要となるため、更なる入館者数増加を目指し、文化財関係者および観光関係機関、地元企業と連携し集客を増やすイベントの開催や、より良い活用方法を模索します。また、周辺のバリアフリー化など更なる環境の整備を行い、幅広い人に利用される施設を目指します。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名		佐々木家住宅管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○佐々木家住宅は、地域の歴史的資産として保存されている一方で、活用面では課題も多い。イベント開催時には一定の集客が見られ、文化的・教育的価値を活かした活用方法の可能性が示されている。民間との連携や柔軟な企画運営によって、施設の魅力を引き出す取り組みが進められており、今後は定期的なイベント開催や教育的活用の強化、管理と活用の役割分担の明確化が求められる。 ○施設単体での集客には限界があるものの、地域資源との連携や体験型企画によって、来館者の関心を引き出す工夫が重要である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○地域住民を巻き込んだ参加型イベントは、文化財施設の活用の幅を広げる好例であり、継続的な開催が望まれる。 ○佐々木家住宅は文化財への関心を高める場として重要であり、維持管理費を考慮した上で、来館者を増やす工夫が必要である。 ○子どもたちに文化財への興味を持たせる教育を通じて、次世代の担い手の育成と文化財の保存・継承を進めることが求められる。 ○文化財施設の活用方法の検討が最も重要な課題であり、日常的な利用の在り方も含めて見直しが必要である。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 22
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
予算額	84,945	決算額	84,835	財 源 内 訳			
				特定財源	63,125	一般財源	21,710

【1. 事業の目的】(単位：千円)
学校給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健全な心身を育むために、美味しく魅力ある給食を提供します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●給食種別決算額：千円

主食（米・パン）	8,724
副食（その他）	61,537
牛乳	14,574
計	84,835

●提供人数：人／日

小学校	7校	772
中学校	4校	369
養護学校	1校	28
給食センター		17
計		1,186

●給食提供数：食／年

小学校	144,204
中学校	68,092
養護学校	5,112
給食センター	3,493
計	220,901

●牛乳提供数：個／年

小学校	140,576
中学校	67,124
養護学校	5,150
給食センター	201
計	213,051

●ふるさと給食
地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。



隠岐の近海でとれたバイ貝の炊き込みご飯と、アラムの五目煮、島内産サツマイモの入った味噌汁です。

●地産地消の推進
給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。
令和6年度地元産野菜使用率 15.50%（令和元年度 16.00%）・米使用率 100.00%

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。
地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。
子育て支援策として給食費公費負担を継続して実施、保護者負担軽減に資することができました。

（2）今後の課題
事業運営財源である給食費の未納者が依然として発生しており、徴収強化が必要です。
また、引き続き食材費が高騰していることから、安定した食材確保のため発注やメニューの創意工夫が重要です。地場産物使用についても、必要量が安定して確保できるよう関係機関との連携が重要です。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 22
事業名		学校給食調理事業					学校給食センター

【4. 事務評価委員会の評価 ※】

(1) 評価の概要

○地場産物を活用した「ふるさとメニュー」により、地域の食文化や生産者への理解が深まり、児童の食への関心が高まっている。

○給食費の不足分を公費で補填することで、保護者の負担を軽減し、すべての児童が平等に給食を受けられる環境が整えられている。

○給食費未納への対応や食材費高騰への対策、地場産物の安定確保など、継続的な課題に対して学校と行政が連携し、慎重かつ柔軟に対応していくことが求められる。

【5. 教育委員会の意見 ※】

○地産地消の給食は児童生徒の食への関心を高め、ふるさと教育にもつながるため、予算や供給量の課題を踏まえつつ継続が望まれる。

○給食費未納への対応は公平性の観点から行政の責任として適切に行う必要があり、状況に応じた対応が求められる。

○物価高騰の中でも魅力あるメニューの展開や栄養価への配慮がされており、給食費の据え置きと公費補填は評価できる。

○食育の推進には、栄養職員との連携や家庭の食状況の多様性への理解が重要である。

○給食は子どもたちの楽しみの一つであり、好き嫌いの克服や残食ゼロを目指す取り組みが期待される。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
予算額	1,008	決算額	980	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	980

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

西郷文化祭	決算額	15千円
	・隠岐の島町いきいき祭りと共同で開催しました。 ・教育文化振興財団との協働で行いました。	
まちづくり活動推進費	決算額	710千円
	・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。 ・生活環境・ひとづくりの2部会で活動をしています。 関係団体によるパネル展示やエコ活動、ワークショップ、フリーマーケットなど行い、環境問題を考える良い機会となりました。	
中央公民館活動費	決算額	255千円
	・青少年、家庭教育など各年齢層に対し講座や事業を実施しました。 ・全国的な詐欺被害が横行している中、隠岐の中で、被害者が出ない様に隠岐の島警察と協働で講座を隠岐各地で行いました。 ・放課後子ども教室など、公民館が実動となって実施しました。	
		
ジオイベント（昆虫観察会）	あけぼの教室	放課後子ども教室

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

公民館講座開催に向け、アンケート等を活用し、住民のニーズに合った講座開催に心掛けました。単独開催の講座について、高齢者向け：3回、成人向け：2回、子ども（親子も含む）向け：7回、共通向け：2回 計14回行い、令和5年度実績11回を3講座増となりました。実行委員会などと協力し、自分たちで開催する講座のしくみ作りを行っています。

（2）今後の課題

公民館事業の実施に向け、地域の現状（少子高齢化等）がどんどん変化している中、地域にあった、地域を巻き込んだ活動が必要と考えます。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○文化祭を産業祭等と共同開催することで、来場者の増加や地域の賑わい創出に成功しており、今後も他団体との連携を積極的に進めるべき。 ○詐欺防止や青少年育成など、時代の課題に即した講座を展開しており、地域住民の関心を引きつける内容となっている。講座数の増加も成果として顕著でありニーズに応じた講座の充実と柔軟な対応が評価できる。 ○文化祭の出品者の高齢化や参加者減少など、文化活動の持続性に課題がある。地域住民の主体的な参加を促す仕組みづくりや、若年層へのアプローチが必要である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○様々な団体との共同開催により、事業の目的が達成されており、公民館の役割が広がっている。 ○住民ニーズを反映した講座の増設は評価され、持続可能な運営体制の構築が期待される。 ○放課後や長期休暇中の子どもや親子の居場所づくりとして、公民館への期待が高まっている。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業(2/4) 一布施公民館一					布施公民館	
予算額	406	決算額	352	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	352

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

● 布施地区館活動費 決算額 235 千円
 ・各種講座・各教室、その他活動を行いました。新しく人づくり事業として食に対する活動団体（まめむすめ）の地域団体発足に支援しました。
 ・学校支援地域本部事業、放課後子ども教室など、公民館が実働となり実施しました。





味噌づくり教室 さき織り体験 放課後子ども教室（笹まき）

● まちづくり活動推進費 決算額 48 千円
 ・まちづくり活動推進に寄与する花いっぱい運動への助成を行いました。





花いっぱい運動 布施の手づくり文化祭準備 布施の手づくり文化祭

● ふるさと自然体験活動費 決算額 69 千円
 ・地域のボランティアの方と北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。





【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
 各種講座・教室については、地域の要望にも応えながら、積極的に開催することができました。「ひとづくり」については、新しく食に関するグループも発足し、味噌づくりや試食会を開く等活動に広がりを見せる等地域との連携が図ることができました。浄土ヶ浦祭りと同時開催された「布施の手づくり文化祭」は、一人ひとりの制作活動が年々難しくなっている中、住民の皆さまが声掛けにより集まって協力しながら制作していただきました。文化祭を自分ごととして関わってもらえることができ、会場全体に統一感もでて大変良い効果が得られました。また、各事業所団体の作品を展示することで地域からの情報発信を行うことができました。

（2）今後の課題
 公民館事業の実施に向け、地域の現状（少子高齢化等）がどんどん変化している中、地域にあった、地域を巻き込んだ活動が必要と考ます。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-					布施公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○新たな団体の立ち上げや文化祭での住民参加型の作品制作など、地域と一体となった活動が展開されており、住民の主体性を育む取り組みとして評価できる。							
○指定管理者制度を導入することによりより運営形態が変わる中でも、住民が違和感なく活動に参加できるよう、継続的な支援と質の維持が求められる。							
○公民館活動と地域振興事業の補助金や役割分担が複雑化しており、今後は制度の明確化と情報共有を進めることで、地域活動の円滑な運営が期待される。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○地域住民が中心となり行政が支える運営方法は、地域と学校をつなぐ好例として評価されており、今後も町民の声を反映した運営が期待される。							
○地域の声に沿った講座やイベントの企画・発信は、公民館の役割を再認識する機会となっており、継続的な取り組みが望まれる。							
○各地域の特色を活かした活動が展開されており、地域の多様性を反映した運営が評価できる。							
○活動の継承には、中心となる人材への支援が不可欠であり、持続可能な体制づくりが求められる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業(3/4) 一五箇公民館一						
予算額	577	決算額	521	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	521

【1. 事業の目的】 (単位: 千円)
 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要(実績)】



寒稽古閉会式



いきいきライブ講座



スマホ講座



スタディールーム

●まちづくり活動推進費(冬期体力づくり教室)

決算額 310千円

・第56回冬期体力づくり教室(寒稽古)では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に実施し、体力づくりを通して心と体を鍛え、健康な体作り、元気なあいさつの向上に努めました。日程が通常通り7日間の開催で実施され、約122名の関係者が集まり、朝稽古に励みました。
 期間: 令和7年1月19日～1月25日 早朝
 種目: ジョギング、柔道、剣道、卓球、ソフトボール、サッカーなど

●幸齢者ふるさと学園活動費

決算額 80千円

・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。町内在住の60歳以上の方を対象に7回の教室を開催しました。(いきいきライブ講座①②、グラウンドゴルフ②、スマホ教室、しめ縄作り等)「ジオパークスポット巡り」については、都万方面の大自然の景観を満喫し、相互の交流が図られました。

●公民館活動費

決算額 131千円

・各種公民館講座(スタディールーム、星空観察会、そば打ち体験)及びどんと祭りを開催しました。又、毎年、図書の購入を行い、住民の読書環境を整えるように努めました。




【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 高齢者学級では、高齢者自身が計画した事業を実施しました。公民館講座は、気軽に参加できる講座等を企画しみなさんに喜んで頂けました。また、どんと祭りでは、様々な団体に舞台披露や、作品展示等を協力して頂き来年も実施できるよう働きかけをしていきたいと考えています。図書活動では、町立図書館と連携し、県立図書の配本を図書室と五箇診療所及び久見診療所に配置し、利用される方の利便性向上を図っています。

(2) 今後の課題
 公民館事業の実施に向け、地域の現状(少子高齢化等)がどんどん変化している中、地域にあった、地域を巻き込んだ活動が必要と考えます。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名		公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○高齢者から子どもまで幅広い層が参加する講座やイベントが継続的に実施されており、地域のつながりと文化の継承に大きく寄与している。 ○社会福祉協議会との連携による新たな福祉講座の開催や、体験型学習の導入など、事業内容の拡充が図られており、住民ニーズに応える柔軟な運営が実現されている。 ○長年続く朝の寒稽古など、地域文化の継承が評価される一方で、若手指導者の育成と参加促進が今後の持続的な活動のために重要な課題となる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○寒稽古が56回継続されていることは地域の誇りであり、今後も継続できるよう表彰や発表の機会などを通じた公民館の支援が求められる。 ○老若男女が参加する長年の取り組みは、地域のつながりや愛着を育む点で大きな意義がある。 ○活動の継続には、中心となる人材への支援が不可欠であり、地域の力を活かした運営が望まれる。							

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(4/4) 都万公民館					都万公民館	
予算額	412	決算額	315	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	315

【1. 事業の目的】 (単位: 千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要(実績)】

●ふるさと体験事業 決算額 154 千円



都万小学校「牛舎見学」



都万小学校「昔遊び交流会」



都万青少年育成会議講演会

●都万公民館活動費 決算額 161 千円



流しそうめん



都万介のつどい



都万 e sports選手権大会



都万文化祭



都万笑福館「蕎麦打ち体験」



「国祭り」出店～都万未来会議提案より～

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

ふるさと体験事業では、都万の小中学校の児童生徒が地域の大人と触れ合う機会を多く持つことができ、地域の良さや地域課題などを学び、考えを深めることができました。

高齢者学級「都万笑福館」では、今年度23名の会員の参加があり、年間を通して「笑い」の多い活動を実施することができました。

都万小学校6年生による「都万未来会議」での提案を受け、その内の1つの提案を子どもたちの力で実現することができました。

(2) 今後の課題

公民館事業の実施に向け、地域の現状(少子高齢化等)がどんどん変化している中、地域にあった、地域を巻き込んだ活動が必要と考えます。

令和6年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(4/4) ー都万公民館ー					都万公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○子どもたちが自ら企画・提案し、それを地域と公民館が支援して実現するプロセスは、社会参加の意識を育てる重要な教育的成果であり、子どもの主体性を育む取り組みが高く評価される。 ○青少年育成会議や地域企業との協働により、継続的な講演・体験活動が実施されており、地域資源を活かした学びの場として機能しており、大変効果的である。 ○高齢者学級や放課後子ども教室など、世代を超えた交流の場を提供しており、地域コミュニティの活性化と安心できる居場所づくりに貢献している。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○学校と連携し、地域課題や文化体験を通じて子ども中心の地域づくりが進められており、好例として評価できる。 ○高齢者学級や夏休みの子どもの向け講座など、世代を超えた魅力的な活動が地域のつながりづくりに貢献している。 ○若者世代を対象とした講座の開設にも期待が寄せられている。 ○「隠岐びとチャンネル」などを活用した情報発信により、地域に根差した取り組みの様子が伝わり評価できる。 ○活動の継続には、中心となる人材への支援が不可欠であり、地域の方を活かした運営が求められる。							